2026 年 11 月 5 日

会社名　株式会社グリッド

（証券コード：5582　東証グロース）

「ReNom Power」に生成 AI を搭載し、製品価値を向上

～北海道電力ネットワーク、九州電力で運用開始～

株式会社グリッド（本社：東京都港区、代表取締役社長：曽我部 完、以下「当社」）は、電力会社向け業務支援システム「ReNom Power」に、LLM（大規模言語モデル）を活用して最適化計算のエラー原因をわかりやすい日本語で提示する新機能を搭載し、北海道電力ネットワーク株式会社および九州電力株式会社において運用を開始しましたので、お知らせいたします。具体的な機能の内容と効果につきましては添付をご参照ください。

本リリースのポイント（成長戦略上の意義）

◆ 当社の強みである数理最適化に生成 AI を融合

当社の中核技術である数理最適化に、LLM（大規模言語モデル）を組み合わせた機能です。これまで専門的な数式を読み解く必要があった計算エラーへの対応を、数式への知見のないエンドユーザーでも行うことができるようになり、最適化システムの「使いこなしやすさ」を格段に向上させることで「ReNom Power」の製品価値を高めます。

◆ 大手電力会社 2 社の実運用で効果を確認

本機能は、北海道電力ネットワーク株式会社および九州電力株式会社の「ReNom Power」において既に運用を開始しています。導入先からは、エラー発生から解消までの時間が体感で従来の数時間から数十分に短縮されたとの声が寄せられており、実際の業務現場での有効性を確認しています。

◆ 問い合わせ対応の削減による運用効率の向上

当社への問い合わせ件数は導入前と比べて減少し、問い合わせ対応に充てていた開発リソースを、機能拡張や新規案件へ振り向けやすくなり、導入先の拡大に向けた効率的な運用体制の構築につながります。

◆ 継続的な機能改善による顧客との関係強化

導入後もお客さまの業務現場の課題に合わせて機能を改善し続けることで、システムの定着と利用範囲の拡大を図ります。こうした継続的なアップデートを通じて、電力会社との中長期的な関係構築を進めてまいります。

本件の社会的意義

再生可能エネルギーの導入拡大などにより、電力会社の計画・運用業務は高度化・複雑化が進む一方、電力分野では人手不足や技術継承が課題となっています。専門知識に頼らずに AI システムを使いこなせる環境を整えることで、限られた人員で時間的制約のある業務を確実に遂行できる体制づくりを支え、電力の安定供給と持続可能な電力インフラの構築に貢献してまいります。

本機能の特徴・効果

本機能は、計算エラーに関連する数式情報や入力データ、制約条件などをもとに、LLM がエラーの原因や確認すべき箇所を日本語で説明するものです。例えば「X 時の YY 発電所について、制約条件 A と入力データ B の間に矛盾があります。入力データ B の Z 項目をご確認ください。」といった形で、エラーの原因と具体的な修正箇所を提示します。これにより、エンドユーザーの負担軽減とエラー解消の迅速化、当社への問い合わせ件数の削減を実現しています。

以上